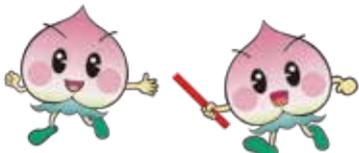


中央区

ボラセン
だより

1月号

ボランティア
リレー

2022年最初のボランティアリレーは昨年10月から始まった“子ども食堂かりん”のTKさんとTNさんにお話を伺いました。「**限りない可能性**」というかりんの花言葉にちなんだ団体名。手作り弁当を子ども～大人まで年齢問わずお渡しされていますが、どのような想いで活動されているかなどお聞きしました！

1、ボランティア活動のきっかけは？

TKさん：自ら「ボランティアをしよう」と思い活動したわけではなく元々天理教の“ひのきしん”の教えもあり、被災地支援や地域のボランティアには何の抵抗もなく参加していた。

TNさん：最近TVで子ども食堂を見る機会が多く「こんなことができたらいいな」と思っていたところ友人から「一緒にしましょう!」というお声かけから3拠点別々でお手伝いしながら開催することになりました！

2、活動時に心がけていることはありますか？

TKさん：まだ2回目というのものもあるがいずれは憩いの場になればと思っているのでまずはみなさんに“かりん”を知っていただく必要があると考えています。

TNさん：お渡しする際、“本当に困っている人に渡せているのだろうか”と“何に困っているのか”まだまだ分からないのでまずは**本当に困っている人に配るにはどうすればいいか**を考えています。

3、2回目を終えたがやってよかったと感じたことはありますか？

TKさん：2回目が終わってから「美味しかった」という声やメッセージをいただきました。直接料理を手伝っているわけではないが素直にうれしかったしやってよかったと感じました。

TNさん：「美味しかった」はもちろん、LINEで困っていた方からメッセージをいただいた時は本当にやってよかったなと思いました。

4、ボランティア活動やってみてみたい方に一言！

TKさん：みんなでワイワイしながらやっています。ボランティアも募集しているので「料理勉強したいな。この料理美味しいよ。」などあればぜひ参加してみてください。

TNさん：私も踏みだせず引っ張っていただいた人ですが、**人のためになると自分も元気になる**ので勇気を振り絞って一歩踏み出してみてください！

オンラインで！ パフォーマンス演奏♪

12月20日(月)、DuoAKさんがパフォーマンスを実施しました。今回はDuoAKさん初の試みでオンラインを活用して、ふれあいセンターもものデイサービスとつなぎ、演奏や歌をうたいました。

DuoAKさんが画面越しに手を振ると、デイサービスの利用者さんもテレビに向かって元気よく手を振り返してお応えくださいました。



今回は「ももツアー」というテーマで最初は大阪からスタートで道頓堀行進曲から、北海道、本州、四国…と全国各地の有名な歌をみんなで歌いました。利用者さんも「この歌懐かしいなあ。」「富士山のぼったことある!」とまさにツアーを回っているような感覚で楽しんでいました。コロナの影響で施設でのボランティア活動が休止の中、オンラインを活用したボランティア活動が他区でも進んでいます。今後もボランティア活動が止まることなく、できる方法をボランティアさんと一緒に考えていきたいと思えます。



エコキャップ & 古切手

*コロナの影響で休止になる場合もございます。参加される方は事前にお問合せください。

エコキャップ 仕分け活動 「がらくたかい 我楽多会」

次回活動日 1月8日(土)
 時間 13:30~15:30
 場所 ボランティア市民活動センター

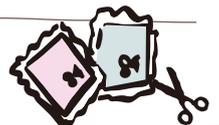
※1月1日のキャップ洗浄はお休みです。



古切手の切り取りのお手伝い♪

次回活動日 1月11日(火)
 時間 13:30~15:30
 場所 ボランティア市民活動センター

※古切手が集まらない場合はエコキャップの仕分けをします。



ボランティア登録受付中!

ボランティア活動したい!こんなことしてみたいな!などボランティア活動に興味・関心のある方は下記「中央区ボランティア市民活動センター」までお問い合わせください!

発行元 中央区ボランティア市民活動センター (ふれあいセンターもも3階)
 住所: 中央区上本町西2-5-25
 電話: (06) 6763-8139 ・ FAX (06) 6763-8151

